



北中だより



<http://nk-kitanaka-j.la.cocacn.jp/>

中野区立北中野中学校

★3年生の授業風景から…

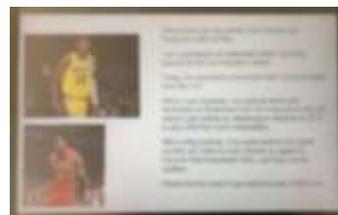
校長 津村 慶

先日、3年生の授業の様子を見に行きました。英語のスピーチ発表の授業で、ある著名人になった設定で記者会見を開き、目的に沿ったわかりやすいスピーチをするという内容でした。事前に各学級で発表を行い、そこで選ばれた代表生徒による全体発表会でした。本来は体育館に3年生全員が集まって代表生徒がスピーチを披露する予定でしたが、1・2年生でインフルエンザが広がっていることから、念のため各教室へオンラインで配信するサテライト発表会に変更しての実施でした。

学習室に集まった23名の代表者のスピーチはどれもレベルの高い内容で、各学級の予選を勝ち上がってきたのが納得できるものでした。テーマに取り上げられた著名人は、歴史上の偉人やスポーツ選手、経済界や芸能界の有名人、作曲家や作家など様々で、個々の生徒の個性が感じられました。スピーチはどれも12～15文ほどの長さで、教科書のモデル文を参考にしながらも、オリジナルの文を加えてより充実した内容となっていました。使われている単語や表現も3年生の学習内容以上のものも含まれていることから、一人ひとりの工夫が感じられるとともに、より良いスピーチを作ろうとする意欲が現れていました。



特に素晴らしかったのは発表する態度で、ほとんどの生徒がスピーチ原稿を暗記してカメラ(画面)を見ながら話していました。中には、まったく手元の原稿を見ずに流れるような英語で話す生徒もいて、しっかり準備と練習をして臨んでいることがわかりました。また、そんな仲間のスピーチを真剣に聞いて拍手を送り、評価用紙に感想を書き込む周囲の生徒の姿勢もとても立派でした。



そんな3年生は数回にわたる進路面談を終えて、それぞれに受験する高校が決まったところです。3年生はこの時期になると、近づいてくる受験に対する焦りから、授業中に関係のない別の学習をしていたり、時には学校を休んで受験のための勉強一色に染まってしまう人がいます。一方で、最も有効な受験対策は学校の授業や課題にしっかりと取り組むことだとも言われていたり、受験前の不安定な時期だからこそ、普段通りの生活とリズムを大切にしながら勉強を進めることが大切だと言われたりもします。

思い通りに進まない学習に焦る気持ちはわかりますが、そのために学校の授業にしっかりと取り組めないのは本末転倒のように感じます。その意味で、授業の課題にしっかりと取り組みながら仲間と楽しそうに授業を受ける3年生の姿は、とても立派だと感じるとともになぜか安心する気持ちになりました。145名の3年生全員がそれぞれに進路と向き合い、卒業後に歩む道を納得できる結果で決められることを願っています。

1学年 English Camp Report

1年生は11月20日(水)・21日(木)の日程で、1泊2日の移動教室(イングリッシュキャンプ)を実施しました。中野区では昨年度より中学校1年生を対象に、

- (1)英語でコミュニケーションを取る楽しさを体験すること
- (2)様々な国から来た先生たちと話すことで、グローバルな視野を養うこと
- (3)2日間の共同生活を通して、仲間との友情を深めること



を目的として、中野区軽井沢少年自然の家を利用した2日間の英語キャンプを実施しています。

初日の天気予報は曇りでしたが、出発の数日前から急に冷え込みが強くなり、朝生徒が集合した時には小雨混じりとなり、急遽出発式を体育館で行いました。バスに同乗する ALT、看護師さん、カメラマンさんを紹介し、いよいよ「2日間の英語だけ」のキャンプのスタートです。



バスの中では、イングリッシュ・キャンプのガイダンス・ビデオを視聴したり、ALT の司会で英語で自己紹介をしたり、クイズゲームなどをして楽しみました。道路も順調で交通渋滞もなく、予定よりも30分ほど早く到着しましたが、あいにく天気は回復せず、雨の中での開校式となりました。ALT の先生方の自己紹介はもちろん、生徒代表による決意表明も宿舎の支配人のお話も、全て英語で話しました。



開校式の後、それぞれのグループでALTと一緒に昼食をとりました。ALT の先生方は2日間、食事の時間も一緒にいてくださり、グループの生徒と英語で会話をしてくださいました。



初日の午後は、ALT のヒントを元にクイズに答えながらキーワードを探す「スカベンジャーハント」と、世界のいろいろな国について ALT の説明を聞いてまとめる「ワールドツアー」という2つのアクティビティをグループごとに行いました。夕食の前には、ピンポン玉リレーなどのレクリエーションゲームを全員で楽しみました。夜に予定していた星空観測は、残念ながら悪天候のため



中止となり、翌日のスピーチの準備を行いました。

2日目午前中も、スピーチに向けて入念な準備と練習です。生徒はそれぞれ、自分の興味のあるものについて写真を事前に準備してきており、その写真を皆に提示しながら内容を英語で説明しました。スピーチ本番は、グループごとに発表を行い、1回目と2回目でメンバーを入れ替えて、ひとり2回発表を行いました。どの生徒も自分なりに工夫を凝らし、個性的な発表をしていました。また、アクティビティの合間に ALT が話しかけたり、ミニゲームなどでコミュニケーションをとったりすることで、生徒たちはリラックスした雰囲気に参加していました。



2日間の最後にやっと天気も晴れ、閉校式後、中庭でクラスごとの記念撮影を行い、宿舎を出発しました。途中、横川のおぎのやで昼食(峠の釜飯)をとり、無事に北中野中に帰ってきました。

2日間を通して怪我人や病人がなく過ごせたことがとてもよかったです。行き



のバスの中では「英語が不得意である」とか、「勉強そのものが苦手である」と話していた生徒が少なからずいましたが、キャンプ中はどの生徒も英語で話すことを恥ずかしがったり嫌がったりする様子もなく、自ら友達や ALT の先生方に話しかけている様子が見られました。「2日間英語だけ」の生活を通して、英語や英会話に興味をもつとともに、集団生活を通していろいろな人と積極的に関わることになった、充実した2日間となりました。

青空コンサートと中学生意見発表会で北中生が活躍 !!

12月8日(日)、吹奏楽部が中野駅北口改札前の広場で開かれた「青空コンサート」に出演しました。中野ライオンズクラブが主催する薬物乱用防止を呼びかけるイベントで、穏やかな冬晴れの空の下で3曲を披露し、駅前を行き交う多くの人が足を止めて演奏を楽しんでいました。

12月14日(土)には、なかのZEROホールで開催された中学生意見発表会に2年生代表としてU.Dさんが出場し「性差と個人差、そして僕にできること」というスピーチを発表しました。様々な場面で目にする男女に関する対応の違いをユニークな視点で取り上げ、考察を深めながら自分らしく生きることの大切さをまとめた素晴らしい発表でした。

日頃から、地元や校内でボランティアをはじめとする様々な活動に取り組んでいる皆さんですが、中野区全体にかかわる行事でも、前向きに取り組んで生き生きと活動する姿がたいへん立派でした。



3年生と2年生が入選、表彰されました !!



3年生が応募した「税についての作文」で M.Yさんが「中野租税教育推進協議会会長賞」に、K.Hさんが「中野納税貯蓄組合連合会会長賞」に、K.Yさんが「中野納税貯蓄連合会優秀賞」に選ばれました。また「税の標語」部門では、N.Sさんが「東京都中野都税事務所賞」、S.Kさんが「中野間税会会長賞」に選ばれた他、6人の作品が佳作に選ばれました。12月4日に中野区役所で行われた表彰式には作文部門のMさんとKさん、標語部門のNさんとSさんが出席して表彰を受けました。

また2年生が応募した「薬物乱用防止ポスター」では、S.MさんとY.Sさんが「優秀賞」に選ばれ、「薬物乱用防止標語」では、H.Cさんが「最優秀賞」、K.Hさんが「帝京平成大学学長賞」に選ばれた



S・Mさん



Y・Sさん

他、A.KさんとS.Rさんが「優秀賞」に選ばれました。

中野区全体のコンクールで北中生が表彰されるのはたいへん嬉しく、誇らしいことです。自分のもっている力を積極的に発揮し、これからも様々な場面で活躍してくれることを期待しています。

「笑顔あふれる北中野ファミリー」NEWS !!

【保幼小中連携】白鷺保育園とのふれあい体験

11月26日と12月10日に白鷺保育園の園児の皆さんと1年生とのふれあい体験を行いました。最初に「じゃんけん列車」や「手つなぎ鬼」等をして仲良くなった後、年齢別のグループに分かれて「はないちもんめ」や「○×ゲーム」、「風船リレー」、「フルーツバスケット」等をして遊びました。また、最後には合唱コンクールの課題曲「カリブ夢の旅」を披露しました。

どの場面でも中学生が司会進行をしながら園児に丁寧に説明や指示をしていて、幼い子どもたちに対するやさしさと配慮が感じられました。日頃の学校生活では2・3年生の先輩を見習う場面の多い1年生ですが、ふれあい体験では普段以上にしっかりと行動する様子が頼もしく感じられました。

【1年生の感想（一部抜粋）】

- ◆小さい子と接するのは苦手だったけど、今回のふれあい体験を通して前よりは苦手ではなくなった。
- ◆小学生の頃は特に何も思わなかったが、中学生になって保育園の先生の大変さが身にしみました。
- ◆今回の授業で自分たちがお姉さんやお兄さんだと自覚した。来年は新しい1年生が入学して先輩になるのでみんなの手本になれるようにこれから心がけていきたい。
- ◆園児が喜んでる姿を見たら、こっちまで嬉しくなって、笑顔になった。



【保幼小中連携】かみさぎ幼稚園での保育実習

11月25日から28日までの4日間、3年生が家庭科の授業の一環として、かみさぎ幼稚園で保育実習を行いました。A→C→B→Dの順で1クラスずつかみさぎ幼稚園を訪れ、A・D組は5歳児、C組は3歳児、B組は4歳児の園児たちとふれあいました。

生徒たちは家庭科の授業で作成したパペット（指人形）を使って自己紹介をし、絵本を読んだり手遊びをしたりして仲良くなりました。その後は歌やお遊戯、リズムダンスなど、発達段階に応じた活動を一緒にしながら楽しみ、約1時間半の実習があっという間に過ぎました。一緒に遊びながらも園児の様子や表情に気を配り、園児が楽しく過ごせるように考えながら行動する姿がとても印象的でした。幼児に関心をもつ、幼児の心身の発達過程やそれを支える遊びの意義を理解するといった実習の目的を十分に達成できたようです。

受け入れてくださったかみさぎ幼稚園の皆様には感謝いたします。

